

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社イナリサーチ

 コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中川博司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 社長室長

(氏名) 野竹文彦

TEL 0265-73-6647

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,389	△24.7	△13	—	△40	—	△22	—
23年3月期第2四半期	1,846	—	△96	—	△131	—	△99	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △54百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △125百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△745.14	—
23年3月期第2四半期	△3,330.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,604	1,787	37.3
23年3月期	5,170	1,862	34.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,718百万円 23年3月期 1,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	700.00	700.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	800.00	800.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,864	△1.9	177	37.4	128	73.2	71	233.3	2,350.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	29,982 株	23年3月期	29,982 株
24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期2Q	29,982 株	23年3月期2Q	29,982 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における主力事業の非臨床試験は、大手製薬企業の新薬開発が海外製薬企業の買収や開発の最終段階にあるパイプラインへの経営資源の集中投入が継続している影響を受け、市場は伸び悩み、その結果CRO(受託試験研究機関: Contract Research Organization、以下「CRO」と言います。)間の競争激化が続く状況にあります。

当社グループではこの市場の変化による経営環境の厳しさに対応して、事業領域の拡大及び経費節減に努めてまいりました。事業領域の拡大では、実験施設と熟練した当社の技術者をあわせて提供する新サービスを開始しており、製薬会社の基礎研究開発に直ちに取り入れられております。また近い将来に向けて大学との提携による特色ある実験モデルの開発を進めております。

あわせて東日本大震災の警鐘に基づき震災対策ならびに災害後の事業継続の重要性を再認識し、顧客の要望に応えるべく発電機を増設し自家発電の100%供給体制と燃料備蓄の増強、建屋・機器設備の耐震対策を完了し、現在従来の給水体制に加えて井戸掘削による新たな水源確保に取り組んでおります。

一方、臨床試験は、かねてより受注に向け取り組んでまいりましたThorough QT試験(サロ・キューティー試験、以下「TQT試験」と言います。)及び探索QT試験において、「非抗不整脈薬におけるQT/QTc間隔の延長と催不整脈作用の潜在的可能性に関する臨床的評価」(薬食審査発1023第1号 平成21年10月23日)が発出され2年経過し法令の内容が浸透したことから需要が高まり、現在数社の実施が確定し加えて複数の問い合わせ先との契約締結に向けた交渉を進めております。

売上高に関しましては、前年同四半期は環境事業で動物飼育機材の大口売上がありましたが当第2四半期連結累計期間においてはこのような特別要因が無く前年同四半期実績を下回りました。利益面では例年第2四半期連結累計期間では赤字となる傾向があり、当第2四半期連結累計期間も赤字ではありますが、当初予想および前年同四半期実績より改善となりました。これは非臨床試験の受注競争による受注価格の引下げで利益率は低下したものの、前年同四半期後半の受注が比較的堅調であったため稼働率は低下せず、ことに第1四半期連結会計期間に売上となった試験の粗利率が改善したことによるものです。

この様な状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,389,912千円(前年同四半期比24.7%減)、営業損失は13,090千円(前年同四半期は営業損失96,258千円)、経常損失は40,035千円(前年同四半期は経常損失131,540千円)、四半期純損失は22,340千円(前年同四半期は四半期純損失99,852千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 非臨床試験

当第2四半期連結累計期間における売上高は1,336,281千円(前年同四半期比7.3%減)、営業利益は39,274千円(前年同四半期は営業損失36,573千円)となりました。製薬企業の開発動向の変化や円高による海外CROを含む受注競争の激化に伴う受注価格の低下に対しては、信頼性を高め、他社にないサービスを拡大するとともに、東京、大阪の営業拠点に加えて本社からも幹部職員及び専門知識のある試験責任者による顧客訪問を活発に進めてまいりました。またコストの削減についても引き続き取り組んでまいります。

② 臨床試験

TQT試験及び探索QT試験の受注に向けた営業活動を一段と強化しております。現状では体制整備費用が先行し、売上高は5,978千円(前年同四半期は売上高227千円)、営業損失は33,457千円(前年同四半期は営業損失23,906千円)となりました。

③ 環境

前年は製薬企業研究所向け動物飼育機材の大口売上がありましたが、当第2四半期連結累計期間は主に保守業務が中心のため、売上高は47,652千円(前年同四半期比88.3%減)、営業損失は18,907千円(前年同四半期は営業損失35,778千円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は4,604,921千円となり、前連結会計年度末と比較して565,327千円減少しました。本減少は主に、売掛金の減少によるものであります。

負債の部の残高は2,817,653千円となり、前連結会計年度末に比べ490,218千円減少しました。減少の主な要因は、短期借入金及び長期借入金の返済によるものであります。

純資産の部の残高は1,787,268千円であり、前連結会計年度末に比べ75,109千円減少しました。本減少は主に、利益剰余金の減少によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結会計期間末と比較して12,072千円増加し、194,993千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は170,918千円（前年同四半期は33,635千円）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純損失39,634千円、減価償却費133,954千円、売上債権の減少額333,504千円、仕入債務の減少178,514千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は14,879千円（前年同四半期は200,082千円）となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出9,647千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は299,799千円（前年同四半期は51,604千円の獲得）となりました。主な内訳は長期借入金の返済による支出217,302千円であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間において、平成23年8月9日に公表いたしました業績予想値と実績値の間に差異が生じております。詳細につきましては、本日公表の「平成24年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成24年3月期の通期連結業績予想及び通期個別業績予想につきましては、平成23年8月9日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	395,056	253,590
受取手形及び売掛金	514,217	179,294
商品及び製品	3,273	2,942
仕掛品	745,751	768,329
原材料及び貯蔵品	259,444	264,664
その他	171,426	163,138
貸倒引当金	△6,668	△43
流動資産合計	2,082,501	1,631,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,630,703	3,615,824
減価償却累計額	△1,778,912	△1,847,934
建物及び構築物(純額)	1,851,790	1,767,889
土地	819,982	815,325
その他	972,338	975,733
減価償却累計額	△715,991	△733,175
その他(純額)	256,346	242,558
有形固定資産合計	2,928,120	2,825,773
無形固定資産	113,910	101,379
投資その他の資産		
その他	39,086	40,014
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	38,186	39,114
固定資産合計	3,080,216	2,966,267
繰延資産	7,530	6,737
資産合計	5,170,248	4,604,921
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	330,230	150,239
短期借入金	320,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	428,104	451,704
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	44,512	6,052
前受金	630,188	639,078
賞与引当金	83,867	55,510
その他	162,301	172,920
流動負債合計	2,059,204	1,755,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
固定負債		
社債	240,000	210,000
長期借入金	752,914	612,012
退職給付引当金	2,535	2,644
役員退職慰労引当金	53,425	51,900
その他	199,791	185,590
固定負債合計	1,248,666	1,062,147
負債合計	3,307,871	2,817,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,790	684,790
資本剰余金	600,790	600,790
利益剰余金	576,017	532,689
株主資本合計	1,861,597	1,818,269
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△73,958	△100,151
その他の包括利益累計額合計	△73,958	△100,151
少数株主持分	74,738	69,151
純資産合計	1,862,377	1,787,268
負債純資産合計	5,170,248	4,604,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,846,754	1,389,912
売上原価	1,525,193	1,029,294
売上総利益	321,561	360,618
販売費及び一般管理費	417,819	373,709
営業損失(△)	△96,258	△13,090
営業外収益		
受取利息	99	82
受取賃貸料	6,202	4,303
その他	1,006	2,459
営業外収益合計	7,308	6,845
営業外費用		
支払利息	22,583	17,729
為替差損	17,376	11,660
その他	2,630	4,400
営業外費用合計	42,590	33,790
経常損失(△)	△131,540	△40,035
特別利益		
固定資産売却益	—	400
貸倒引当金戻入額	572	—
特別利益合計	572	400
特別損失		
固定資産除却損	202	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,413	—
特別損失合計	1,616	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,584	△39,634
法人税、住民税及び事業税	2,485	3,159
法人税等調整額	△35,956	△21,061
法人税等合計	△33,471	△17,902
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△99,112	△21,732
少数株主利益	739	608
四半期純損失(△)	△99,852	△22,340

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△99,112	△21,732
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△26,385	△32,389
その他の包括利益合計	△26,385	△32,389
四半期包括利益	△125,498	△54,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△120,527	△48,534
少数株主に係る四半期包括利益	△4,970	△5,587

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,584	△39,634
減価償却費	147,007	133,954
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△704	△6,624
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,777	△28,356
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△163	318
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,850	△1,525
受取利息	△99	△82
支払利息	22,583	17,729
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△400
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,413	—
売上債権の増減額(△は増加)	45,655	333,504
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,629	△39,157
仕入債務の増減額(△は減少)	220,951	△178,514
前受金の増減額(△は減少)	△9,818	16,940
その他	△94,235	21,607
小計	129,449	229,758
利息及び配当金の受取額	99	82
利息の支払額	△22,735	△18,730
法人税等の支払額	△73,177	△40,190
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,635	170,918
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	15,073	△6,002
有形固定資産の取得による支出	△215,231	△9,647
有形固定資産の売却による収入	—	1,235
その他	75	△463
投資活動によるキャッシュ・フロー	△200,082	△14,879
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	220,000	△100,000
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△226,940	△217,302
リース債務の返済による支出	△26,594	△31,646
社債の償還による支出	—	△30,000
配当金の支払額	△14,861	△20,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,604	△299,799
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,792	△3,845
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△117,635	△147,605
現金及び現金同等物の期首残高	300,556	342,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	182,921	194,993

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,440,904	227	405,622	1,846,754
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,440,904	227	405,622	1,846,754
セグメント損失(△)	△36,573	△23,906	△35,778	△96,258

(注)セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,336,281	5,978	47,652	1,389,912
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,336,281	5,978	47,652	1,389,912
セグメント利益 又は損失(△)	39,274	△33,457	△18,907	△13,090

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。